

松川の石ころ標本

まつ1



まつ5



まつ9



まつ13



まつ17



まつ2



まつ6



まつ10



まつ14



まつ18



まつ3



まつ7



まつ11



まつ15



まつ19



まつ4



まつ8



まつ12



まつ16



まつ20



松川の石ころ標本ラベル

| | | | | |
|---|--|---|--|---|
| <p><u>まつ1</u></p> <p>石の名前 花崗岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石。全体に白っぽい。黒い粒（黒雲母）が見える。</p> | <p><u>まつ5</u></p> <p>石の名前 安山岩</p> <p>石の区分 火山岩</p> <p>石のとくちょう 全体的に灰色。黒い細長い粒（角閃石）とコロッとした黒い粒（輝石）と白い粒（斜長石）。斑状組織の典型例。</p> | <p><u>まつ9</u></p> <p>石の名前 チャート（赤）</p> <p>石の区分 堆積岩（生物岩）</p> <p>石のとくちょう スベスベしている。ぬらすと透明な感じがする。赤っぽい。</p> | <p><u>まつ13</u></p> <p>石の名前 砂岩を含む泥岩</p> <p>石の区分 堆積岩（碎屑岩）</p> <p>石のとくちょう 全体的に黒い（泥）の中に、白っぽい部分（砂岩）が混じる。</p> | <p><u>まつ17</u></p> <p>石の名前 蛇紋岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう 濃い緑色。色のうすい部分はオリーブオイルみたい。手触りはツルツルしている。</p> |
| <p><u>まつ2</u></p> <p>石の名前 花崗岩と閃緑岩が混ざった石</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 「まつ1」と「まつ3」がくっついている。境界はうねうね波うっている。</p> | <p><u>まつ6</u></p> <p>石の名前 凝灰岩</p> <p>石の区分 火山碎屑岩</p> <p>石のとくちょう 白くてスベスベしている。よく見ると四角い小さなあなが表面にある。</p> | <p><u>まつ10</u></p> <p>石の名前 チャート（白）</p> <p>石の区分 堆積岩（生物岩）</p> <p>石のとくちょう 「まつ9」と似ているが、白い。</p> | <p><u>まつ14</u></p> <p>石の名前 砂岩と泥岩</p> <p>石の区分 堆積岩（碎屑岩）</p> <p>石のとくちょう 「まつ13」に比べると白っぽい部分（砂岩）が多い。白っぽい部分は凸レンズのような形。</p> | <p><u>まつ18</u></p> <p>石の名前 蛇紋岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう 「まつ17」に比べ、色のうすいところが多い。</p> |
| <p><u>まつ3</u></p> <p>石の名前 閃緑岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 細かな細長い黒い粒（角閃石）が見られる。「まつ1」に比べて黒っぽくて粒が細かい。</p> | <p><u>まつ7</u></p> <p>石の名前 礫岩</p> <p>石の区分 堆積岩（碎屑岩）</p> <p>石のとくちょう 黒・赤・白の小石がたくさん入っている。</p> | <p><u>まつ11</u></p> <p>石の名前 石灰岩</p> <p>石の区分 堆積岩（生物岩）</p> <p>石のとくちょう 表面が粉っぽい。「まつ10」に比べ透明感が弱い。</p> | <p><u>まつ15</u></p> <p>石の名前 結晶片岩（緑）</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマ。緑っぽい。よく見ると細いスジがたくさん見える。</p> | <p><u>まつ19</u></p> <p>石の名前 緑色岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう つやがない緑色。いろんな方向に白いスジが入っている。スジはまっすぐなものが多い。</p> |
| <p><u>まつ4</u></p> <p>石の名前 輝岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう うすい緑色で、表面がピカピカしている。水にぬらすと色が濃くなる。</p> | <p><u>まつ8</u></p> <p>石の名前 砂岩</p> <p>石の区分 堆積岩（碎屑岩）</p> <p>石のとくちょう 黒っぽい。よく見るとツブツブが見える。</p> | <p><u>まつ12</u></p> <p>石の名前 ホルンフェルス</p> <p>石の区分 接触変成岩</p> <p>石のとくちょう つやのない黒い中にツブツブがある。</p> | <p><u>まつ16</u></p> <p>石の名前 片麻岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう 白いシマとアズキ色のシマがミルフィーユのようにかさなっている。アズキ色の部分はキラキラしている。</p> | <p><u>まつ20</u></p> <p>石の名前 角閃岩？</p> <p>石の区分 変成岩？</p> <p>石のとくちょう 全体的に黒く、大きな白い粒が入っている。白いところはつぶれて伸ばされた感じがする。</p> |

松川の石ころ標本ラベル

松川の石ころの特徴

白っぽい石ころと緑っぽい石ころが多い。

蛇紋岩らしい蛇紋岩を見つけることができる。三峰川や小渋川でも蛇紋岩は見られるが、三峰川や小渋川のものは色が濃く、黒っぽく見える。

五竜岳や唐松岳周辺は花こう岩（約7千万年前～6千万年前）でできているので、白っぽい花こう岩の礫（まつ1）が多い。白馬岳や八方尾根には蛇紋岩や結晶片岩などの緑っぽい岩石が多いので、それらの礫（まつ15・17・18・19）も多い。

高瀬川や梓川には見られない蛇紋岩や結晶片岩が見られるので、なぜ同じ北アルプスから流れ出る川なのにこんなにも礫の種類が違うのか、地質図を見ながら考えてみるとおもしろい。

ちなみに蛇紋岩は、地殻の下にあるマントルをつくっているかんらん岩に水が加わってできる岩石と考えられている。そんな地下深くにあったはずの岩石が、標高3000m近い高山に露出していることを思うと、地球が冷え固まった動かない星ではなく、ダイナミックに動いている活きた星であることがわかる。

松川の河原



松川の石ころ



松川と北アルプス北部（白馬岳周辺）

八方尾根と岩葦山（手前の雪を被らない緩やかな山）にはさまれた谷を松川が流れ下る。八方尾根と岩葦山（いわたけやま）は蛇紋岩をはじめとする超苦鉄質岩からできている。

